



平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年1月28日

上場取引所 東

上場会社名 ヤスハラケミカル株式会社

コード番号 4957 URL <http://www.yschem.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 安原 禎二

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 石岡 直記

TEL 0847-45-3530

四半期報告書提出予定日 平成23年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	8,620	11.2	1,006	58.3	998	55.4	613	66.7
22年3月期第3四半期	7,753	△7.1	635	99.7	642	197.8	368	133.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	59.74	—
22年3月期第3四半期	34.60	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	19,624	15,618	79.6	1,519.91
22年3月期	19,264	15,155	78.7	1,474.88

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 15,618百万円 22年3月期 15,155百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
23年3月期	—	6.00	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,407	8.0	1,190	29.7	1,177	27.5	722	45.1	70.30

(注)当四半期における業績予想の修正有無 有

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注)簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(注)「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年3月期3Q 10,839,663株 22年3月期 10,839,663株

② 期末自己株式数 23年3月期3Q 563,701株 22年3月期 563,691株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年3月期3Q 10,275,964株 22年3月期3Q 10,643,709株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、会社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P. 2「1. 当四半期の業績等に関する定性的情報(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	3
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(第3四半期累計期間)	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、中国をはじめとする新興国経済の拡大ならびに景気刺激策の効果などにより、企業収益や個人消費は緩やかな改善の兆しがみられるものの、欧州の財政悪化、円高による輸出関連企業の業績悪化、デフレ経済の進行など、下振れ懸念材料が多く、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

当社が関係しております粘着・接着・香料・電子材料・ラミネート業界におきましては、一部では政府の経済対策による特需効果ももたらされましたが、経済対策の打ち切り、為替の動向や原油価格の上昇等により、楽観できない事業環境となっております。

このような経済情勢のなかで、当社といたしましては、営業および研究開発部門へ経営資源を集中させ、新規用途開発や新規需要の掘り起こしに全力を注ぐとともに、生産効率のアップ、業務の効率化を推進し、収益を確保できる体制の構築に注力してまいりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間における業績は、売上高8,620百万円（前年同期比111.2%）、経常利益は998百万円（前年同期比155.4%）となりました。四半期純利益は、613百万円（前年同期比166.7%）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

総資産は19,624百万円となり前事業年度末に比べ359百万円の増加となりました。その主な要因は、現金及び預金825百万円減少等ありましたが、売掛金311百万円、商品及び製品164百万円、仕掛品105百万円、原材料及び貯蔵品109百万円、前渡金458百万円等それぞれ増加したためであります。

負債は4,005百万円となり前事業年度末に比べ102百万円の減少となりました。その主な要因は、買掛金102百万円、未払金131百万円増加等ありましたが、未払法人税等147百万円、賞与引当金102百万円、長期借入金111百万円等それぞれ減少したためであります。

純資産は15,618百万円となり前事業年度末に比べ462百万円の増加となりました。その主な要因は、利益剰余金490百万円増加等あったためであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期会計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は1,775百万円となり、前事業年度末に比べ887百万円の減少となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは77百万円の支出となり、前年同四半期に比べ1,124百万円の減少となりました。その主な要因は、税引前四半期純利益410百万円等ありましたが、たな卸資産の増加567百万円、前渡金の増加659百万円、法人税等の支払額424百万円等によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは572百万円の支出となり、前年同四半期に比べ181百万円の減少となりました。その主な要因は、有形固定資産の取得による支出112百万円、投資有価証券の取得による支出95百万円等であります。

財務活動によるキャッシュ・フローは230百万円の支出となり、前年同四半期に比べ154百万円の増加となりました。その主な要因は、短期借入金の返済による支出200百万円等によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成22年4月28日に発表いたしました平成23年3月期の通期業績予想につきまして、修正を行っております。詳細につきましては、本日（平成23年1月28日）発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」を参照してください。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

- ・ 固定資産の減価償却費の算定方法
固定資産の年度中の取得、売却及び除却等の見積りを考慮した予算を策定しているため、当該予算に基づく年間償却予定額を期間按分しております。
- ・ たな卸資産の評価方法
当第3四半期会計期間末の棚卸高の算定に関しましては、実地棚卸を省略し、第2四半期会計期間末に係る実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出しております。
- ・ 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法
繰延税金資産の回収可能性の判断に関しましては、前事業年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合に、前事業年度末において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法により算定しております。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,739,883	2,565,861
受取手形及び売掛金	2,983,513	2,726,846
有価証券	285,215	346,196
商品及び製品	1,466,758	1,302,322
仕掛品	668,099	562,411
原材料及び貯蔵品	3,660,238	3,550,398
繰延税金資産	55,599	96,102
その他	856,087	325,704
貸倒引当金	△2,812	△2,722
流動資産合計	11,712,583	11,473,122
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,409,223	1,045,324
機械及び装置(純額)	911,953	1,077,604
土地	3,719,282	3,751,581
その他(純額)	1,056,421	1,164,791
有形固定資産合計	7,096,880	7,039,301
無形固定資産	18,623	21,443
投資その他の資産		
投資有価証券	592,420	540,594
繰延税金資産	167,883	143,422
その他	49,798	60,344
貸倒引当金	△13,816	△13,816
投資その他の資産合計	796,285	730,544
固定資産合計	7,911,789	7,791,289
資産合計	19,624,373	19,264,411
負債の部		
流動負債		
買掛金	751,064	648,283
短期借入金	1,949,196	1,949,196
未払法人税等	162,818	309,934
賞与引当金	38,277	141,210
その他	573,209	430,946
流動負債合計	3,474,564	3,479,571
固定負債		
長期借入金	63,886	175,783
退職給付引当金	157,975	167,184
役員退職慰労引当金	308,910	285,646

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
その他	450	450
固定負債合計	531,221	629,064
負債合計	4,005,786	4,108,635
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,789,567	1,789,567
資本剰余金	1,729,013	1,729,013
利益剰余金	12,451,429	11,960,902
自己株式	△390,961	△390,954
株主資本合計	15,579,048	15,088,528
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	39,538	67,248
評価・換算差額等合計	39,538	67,248
純資産合計	15,618,586	15,155,776
負債純資産合計	19,624,373	19,264,411

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)
売上高	7,753,578	8,620,402
売上原価	5,778,586	6,154,898
売上総利益	1,974,992	2,465,503
販売費及び一般管理費	1,339,192	1,458,947
営業利益	635,799	1,006,556
営業外収益		
受取利息	2,171	1,441
受取配当金	9,207	10,511
助成金収入	15,889	—
補助金収入	—	27,217
その他	20,490	24,078
営業外収益合計	47,759	63,249
営業外費用		
支払利息	19,409	15,803
手形売却損	5,117	4,341
為替差損	11,296	45,491
その他	5,452	6,138
営業外費用合計	41,276	71,774
経常利益	642,282	998,031
特別損失		
固定資産処分損	66	19,090
環境対策費	74,000	—
特別損失合計	74,066	19,090
税引前四半期純利益	568,216	978,941
法人税、住民税及び事業税	146,665	330,277
法人税等調整額	53,271	34,824
法人税等合計	199,937	365,102
四半期純利益	368,279	613,838

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	568,216	978,941
減価償却費	522,987	485,765
受取利息及び受取配当金	△11,379	△11,953
支払利息	19,409	15,803
為替差損益 (△は益)	△2,623	6,585
売上債権の増減額 (△は増加)	△488,787	△256,666
たな卸資産の増減額 (△は増加)	187,816	△379,964
仕入債務の増減額 (△は減少)	230,362	102,780
その他	83,562	△537,831
小計	1,109,564	403,461
利息及び配当金の受取額	11,601	12,070
利息の支払額	△20,959	△15,878
法人税等の支払額	△53,146	△477,394
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,047,061	△77,740
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△188,665	△188,805
定期預金の払戻による収入	188,467	188,732
有価証券の取得による支出	△70,606	△70,714
有価証券の売却による収入	70,403	70,606
有形固定資産の取得による支出	△384,475	△496,758
有形固定資産の売却による収入	—	23,256
無形固定資産の取得による支出	△2,657	—
投資有価証券の取得による支出	△2,565	△98,318
投資活動によるキャッシュ・フロー	△390,099	△572,002
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△200,000	—
長期借入れによる収入	50,000	—
長期借入金の返済による支出	△111,897	△111,897
自己株式の取得による支出	△95	△7
配当金の支払額	△123,140	△118,907
財務活動によるキャッシュ・フロー	△385,132	△230,811
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,623	△6,585
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	274,452	△887,140
現金及び現金同等物の期首残高	2,239,730	2,663,120
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,514,182	1,775,980

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。